

宗左近と市川の詩人たち

市川を代表する詩人・宗左近は、一九一九年(大正八)に生まれ、二〇〇六年(平成一八)六月に逝去しました。二〇〇九年(平成二一)は、生誕九〇年の節目に当たります。

東京空襲で母を亡くした体験に基づく長編叙事詩「炎える母」をはじめ、「縄文」をテーマにした彼の作品は、宇宙的な広がりの中に、命の根源に対する深い思いを感じ取ることが出来ます。

本書では、宗の生涯と独自の作品世界の魅力を紹介するとともに、宗と関わりのあった市川の文人についても、交友関係をたどりまます。

併せて、市川ゆかりの詩人も取り上げ、いちかわ文学の広がりを見望します。

目次

I 宗左近の生涯……………2		V 市川の詩人たち……………37	
1 文学との出会い	2	1 田中清光	37
2 徴兵忌避と「炎の一本道」	4	2 鈴木比佐雄	38
3 「炎える母」への結実	8	3 秋原秀夫	39
4 市川へ 縄文へ	10	4 ほしのいたる	40
5 『藤の花』～中句への展開	12	5 松下和夫	40
6 いつも未来である始原	14	6 青木徹	41
II 宗左近の作品世界……………16		7 小紋章子	41
1 詩作	16	8 上山範子	42
2 評論	20	9 高橋馨	42
3 創作	22	10 石井藤雄	43
4 翻訳	23	11 多彩な詩人たち	43
III 宗左近的市川文芸史……………24		VI 永井荷風の詩作と偏奇館炎上……………44	
1 縄文へのまなざし	24	VII 追悼・宗左近……………46	
2 “市”の立つ川と手児奈と	25	1 宗さんの思い出ばなし 金子兜太	46
3 市川の顔が見えなくなる時代	26	2 市川市文学プラザオープニング	47
4 市川の匂いをたどる	27	セレモニースピーチ 宗左近	47
5 宗左近年譜	28	3 生きている宗左近 三浦雅士	47
IV 宗左近ゆかりの文人たち……………32		企画展事業概要・協力者一覧……………48	
1 草野心平	32		
2 北原白秋	33		
3 能村登四郎	33		
4 中野孝次	34		
5 山本夏彦	34		
6 葉山修平	35		
7 神作光一	35		
8 秋山忠彌	36		
9 梶山俊夫	36		

凡例

* 展示および図録においては、常用漢字の使用を基本とし、敬称は省略させていただきます。
 * この図録では、作品名を「」で、単行本・雑誌名を「」で表記しました。
 * 人名・地名・国名などは、原則として当時の資料のままとしました。